

だんとうの大杉治療 4年目（2023年）



1

1 作業の説明

令和4年度(2022年)事業で落枝対策として樹高の切詰を計画、10月に施工する予定であった。
令和4年 3月5日 午後3時20分頃 突然の南西～西よりの暴風(20～25m)で大杉の大枝が落下



3

今回お話する内容

- 1 作業の説明
- 2 作業で見えてきた現在の状態
- 3 今後の予定
- 4 その他

2



4

治療計画年表 (改正案)

年	内容	形態
令和 5 年 (2023 年)	ケーブリング	専門業者による作業
令和 6 年 (2024 年)	土壌改良	住民参加による施工 道具：W スコップ、移植ごて
令和 7 年 (2025 年)	立ち入り防護柵 マルチング	住民参加による施工 道具：W スコップ、掛け矢 材料：杭、ロープ、 バークマルチ

5



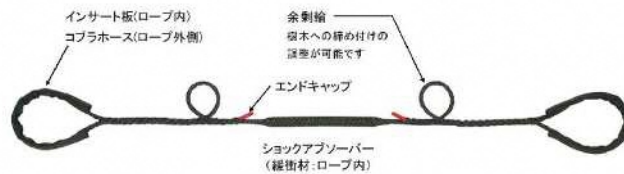
7

ケーブリングとは、幹と枝をワイヤーやロープを使って繋ぐこと。枝折れ防止や枝折れ時の落下防止対策にもなる。

今回採用した「コブラツリーケーブリングシステム」

樹木の枝折れ時の落下予防など優れた効果のある樹木の新サポートシステム
耐久性のあるポリプロピレン製で、伸縮性のあるロープと緩衝材の効果で強風時などの瞬間的にかかる強い負荷を軽減する。

組立後のケーブリング外観 (ダイナミックケーブリングの場合)



6

2 作業で見えてきた現在の状態

8



9

3 今後の予定（令和6年）

治療計画年表（改正案）

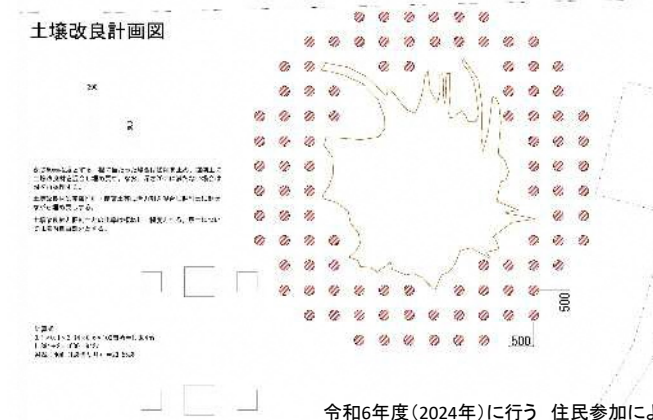
年	内容	形態
令和5年(2023年)	ケーブリング	専門業者による作業
令和6年(2024年)	土壌改良	住民参加による施工 道具：スコップ、移植ごて
令和7年(2025年)	立ち入り防護柵 マルチング	住民参加による施工 道具：スコップ、掛け矢 材料：杭、ロープ、 パークマルチ

11



10

令和2年度(2020年)に行った 住民参加による土壌改良計画



12



とにかく硬かった

そこで次回は
事前にエアレーション行っからの縦穴式土壌改良を提案

13

後継樹となれるのか杉の子

杉の子
令和4年度業務で見つけた杉の子、**実生**なのか、**不定芽**か。

実生の場合ほっておくとほとんど枯れるといわれ、近交弱勢が強く自殖などの近親交配が希であると言われている。また、クマシギは花粉の量は少ないため非常に珍しい**実生**なのか……

不定芽とは、何らかの理由で葉面とか根の一部とか、その他本来芽を生じない器官や組織から出る芽の総称で、この杉の子は地際部の根の一部なのか……

15

4 その他

だんとうの大杉とは

林業関係有識者によると、だんとうの大杉は「**クマシギ**」であると考えられる。単一種類ではなく、近縁の何種類かが混じっているため、形質には多少の違いがある。虫川の大シギもクマシギであるといわれていました。

クマシギの天然分布は、長野県北部に位置する地域性品種(天然品種)である。大杉は、この地域の気候や土地条件に適応し、長年の自然淘汰をうけてきた残った貴重木である。

長野県林業総合センターは2024年度、花粉が少ない県産シギ『クマシギ』増産に向けた研究を始める。



だんとうの大杉は、高樹齢で何百年という風雪に耐えてきた地域のシンボリック存在である。
この遺伝子情報を後世に残すことが大事であり、今後この杉の子をどのように扱うか、皆で考えていきましょう。

14

16